

防災教育

※は参考文献等

1 地域や子どもの実態に即した指導計画等の作成・改善

- 防災教育に関する事項を**各教科等との関連**を図りながら学校安全計画や各種指導計画に確実に位置付け、教育活動全体を通じて防災教育に取り組めるようにする。

※ ふくしま放射線教育・防災教育指導資料 **活用版**
(平成29年3月 福島県教育委員会) P174～181

- 地域の地理的・歴史的を背景を踏まえた実状や子どもの発達段階に応じて、特に重点的に指導すべき災害に焦点を当て指導計画を作成する。
- 防災に関する最新の情報を取り入れるとともに、子どもの防災意識や対応力の実態、保護者・地域の理解や協力体制の実態を踏まえ、関係機関等との連携を図った「**学校安全計画**」「**危険等発生時対応要領**」の**更新**に努める。

※ ふくしま放射線教育・防災教育指導資料 **活用版**
(平成29年3月 福島県教育委員会) P217～231



2 主体的に考え判断し行動する態度及び能力を高める指導の充実

- ◎ 「**放射線・防災教育指導資料**」等を**活用**し、特別活動や道徳、総合的な学習の時間及び理科、社会科、保健体育科等の教科において、災害に関する基本的な知識と防災に対する意識を高めるための学習活動を工夫し実践する。

※ ふくしま放射線教育・防災教育指導資料 **活用版**
(平成29年3月 福島県教育委員会)

※ 防災教育指導資料第1版～第3版(福島県教育委員会)

※ 青少年赤十字防災教育プログラム

まもるいのち ひろめるぼうさい

(平成27年 日本赤十字社)

- 関係機関、各種団体等と連携しながら、時間や場所、状況等地域や学校の実状に応じた避難訓練を実施したり地域防災マップづくりをしたりすることを通して、より**実効的な防災教育**を推進する。
- 「防災個人カード」や防災マップ等、具体的な資料を活用して、学校以外で災害に遭った場合の避難の仕方、家族との集合場所や連絡方法等、**多様な場面を想定した場を設定**し実践する。



3 安全で安心な社会づくりに貢献する態度を身に付ける指導の工夫

- 地域や自治体等と合同での避難訓練、避難所設営、防災学習等、実践的な場の設定を通して、発達の段階に応じて、**自分の役割を理解した行動**ができるようにする。
- **自助・共助・公助**の視点から地域社会の安全・安心に視野を広げ、地域の人々との幅広い交流やボランティア活動など、**社会貢献や社会参加に関する活動の場を工夫**する。